



プラットフォーム間通信フレームワーク (IPCF)

IPCF

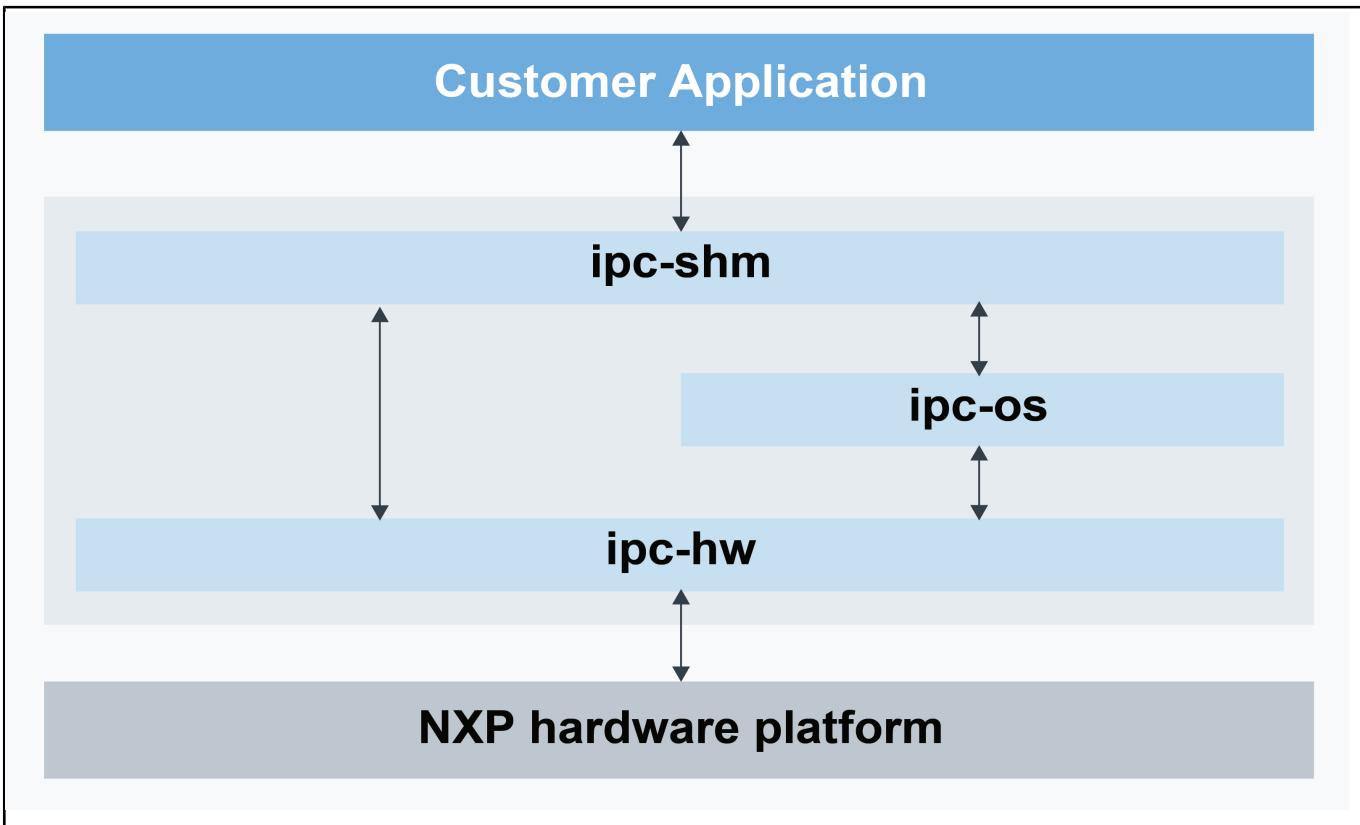
Last Updated: Mar 27, 2023

プラットフォーム間通信フレームワーク (IPCF) は、同一チップまたは異なるチップ (AUTOSAR™やFreeRTOS™など他のオペレーティング・システムで動作) 上のアプリケーション (複数の同種または異種のプロセッシング・コアで動作) が、各種の転送インターフェース (共有メモリなど) を介して通信できるようにするサブシステムです。

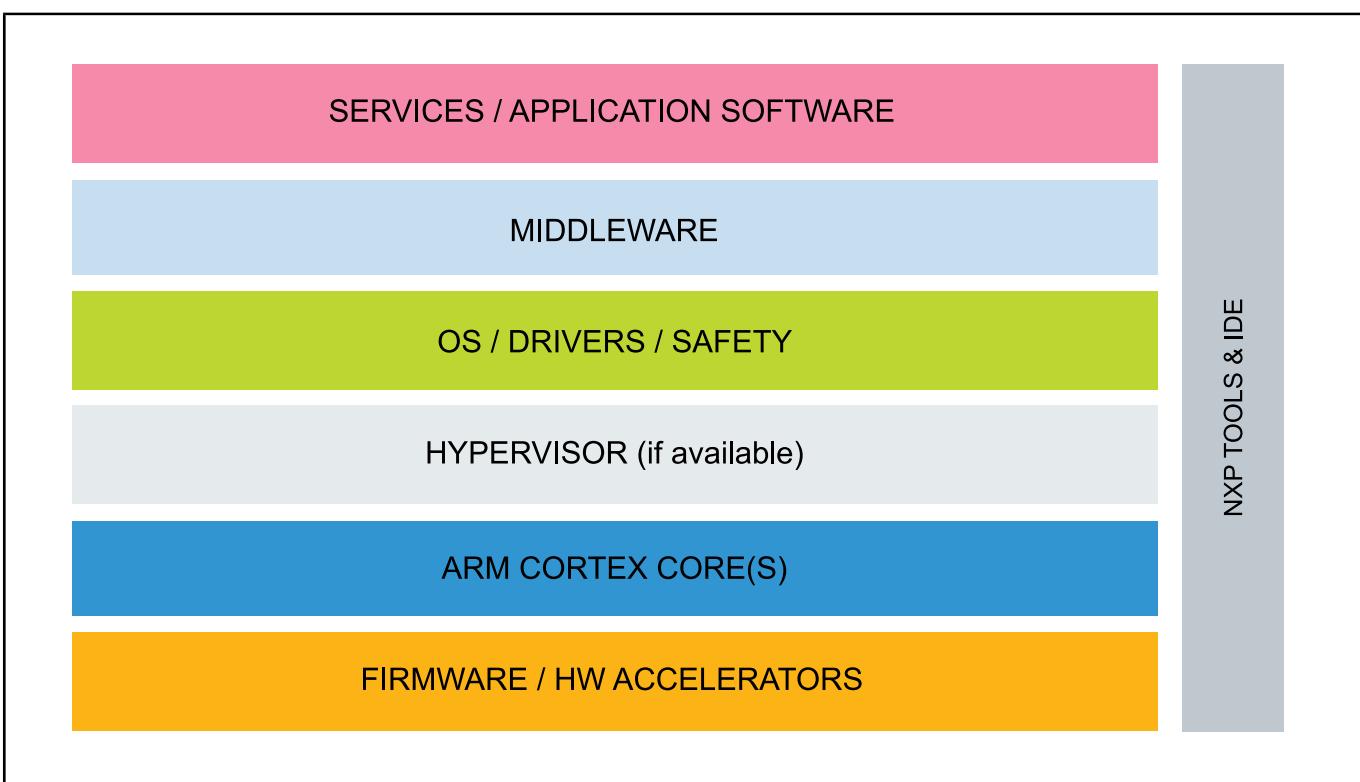
IPCFではゼロコピーAPIを公開しており、お客様はこれを直接使用することでパフォーマンスの最大化、オーバーヘッドの最小化、CPU負荷の軽減を実現できます。ドライバは、すべての書き込み操作をローカル・メモリ・ドメイン内でのみ実行することにより、ローカルとリモートの共有メモリ間に干渉が生じなくなります。

お客様は、IPCFを使用してソフトウェアのメモリ保護を実現できます。

IPCFアーキテクチャのブロック図 Block Diagram



車載一般的なブロック図 Block Diagram



[View additional information for プラットフォーム間通信フレームワーク \(IPCF\).](#)

Note: The information on this document is subject to change without notice.

www.nxp.com

NXP and the NXP logo are trademarks of NXP B.V. All other product or service names are the property of their respective owners. The related technology may be protected by any or all of patents, copyrights, designs and trade secrets. All rights reserved. © 2025 NXP B.V.